

## 概要

本稿は、立山黒部ジオパークにおける運営組織の地域活動が、持続可能な観光の創出において果たす役割について「内発的観光開発」の観点から考察することで明らかにした。「内発的観光開発」の条件は、地域住民が主体となっているという「自律性」と地域資源を持続的に活用することで地域住民の生活の質を目的とすることの二点である。立山黒部ジオパークでは運営組織自体が主体となって行う活動や、地域住民が主体となってはじまった活動を運営組織が後押しする形で関わるようになった活動がみられた。また、活動内容はジオ学習やふるさと学習などの保全意識の醸成につながるものに加え、参加者の健康づくりを目的に含むジオツアーや、食べ物に新たな付加価値を与えるなど、地域資源の持続的な活用がされており、「内発的観光開発」の条件に当てはまることから、立山黒部ジオパークにおける運営組織の地域活動は、持続可能な観光の創出を行っていた。

キーワード：立山黒部ジオパーク，内発的観光開発，持続可能な観光，地域住民